

学校評価関係者会議を開催しました

「北海道立江差高等看護学院における学校評価に関する規程」に基づき、下記のとおり開催しました。

- 日 時 令和5年5月26日（金）15～16時
- 場 所 江差高等看護学院
- 構成員 学識経験者、保健医療福祉関係者、教育関係者、保護者、学生、同窓生、地域住民等
- 内 容 令和4年度自己評価結果、令和5年度重点目標、地域型オープンキャンパスについて

当日は、12名の構成員全員にお集まりいただきました。自己評価結果では「入学生確保は自己評価が高いものの結果につながっていない」、「学生は大学指向で専門学校の運営はますます厳しい、差別化や付加価値を高めることが必要」、「教員の欠員解消は学院の努力だけでは難しい、道としての対策が必要」、「現在はハラスメント問題によるダメージからの回復のフェーズ、熱意を持って入学する学生もおおり地道な口コミも大事」などのご意見をいただき、令和5年度の重点目標を承認いただきました。

いただいたご意見は、今後の学院運営に反映させてまいります。



ボランティア活動・地域との連携

今年度初めてのボランティア活動は、4月23日の江差町主催のクリーンアップ大作戦（かもめ島海浜清掃）でした。1年生2名、教職員4名で参加しました。1年生は初めてのボランティアでしたが、一生懸命頑張っていました。昨年度も参加した江差町の「ネクストイノベーション」の初回会合は5月24日で、学生4名、教職員3名で参加しました。昨年度は色々な困りごとに対して各団体でできることを話し合いましたが、今年度はそれらを行動化する年でテーマ別のグループに分かれて検討しました。「いのちを守る」グループでは、学院の講堂が災害時の避難所として指定されたこともあり、避難所開設時に看護学生として何かできないかという話題も出ました。学院からは、現在検討している「地域型オープンキャンパス」についてお知らせし、関係団体のご協力を依頼しました。引き続き、地域との連携強化に向けて取り組みを継続していきます。（副学院長・大島慎也）

夕音（しおね）寮から

昨年度実施した食事アンケートでは、揚げ物が多い、野菜が少ない、お味噌汁が冷めているなどの意見があり、委託業者と打ち合わせを行いました。4月からは揚げ物の頻度が減り野菜メニューが増え、寮生からも「豪華になった」、「特に朝食のメニューが増えた」、「お味噌汁が温くなった」、「ご飯がおいしくて楽しみ」などの声が聞かれ、学生の要望をふまえてバランスの良いメニューに改善していただくことができました。

また、食事のない日（週末・祝日）も温かい物が食べたいとかねてから要望があり、寮にホットプレートを2台設置しました。5/19（金）の夕方、使用方法や片付け方の説明を兼ね、学院の調理実習室で実演会を開催し、手際よく上手に使えるようになりました。ルールを守って活用し、寮生の食生活改善につながることを期待しています（必要な調理器具は各自で準備をお願いします）。（寮担当・坂上美智子）



▲たこ焼き



▲焼きそば



北海道

北海道立江差高等看護学院 通信

第9号【令和5年5月31日】

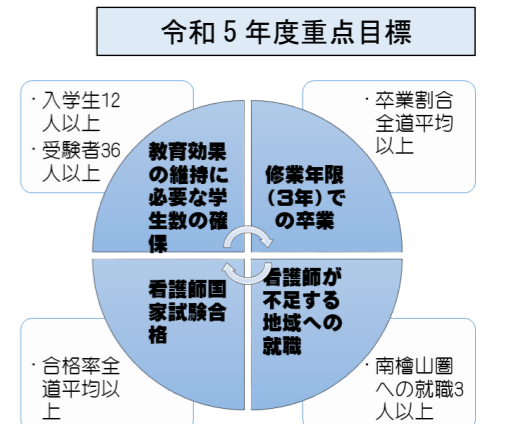
— 発行 —
北海道立江差
高等看護学院

学院の近況

新緑の頃、いかがお過ごしでしょうか。令和5年度がスタートしました。昨年度は精力的にハラスメント再発防止対策に取組み、学生が安心して看護を学べる学習環境づくりに努めてきました。公表している主な取組以外にも、日常的に学生の意見や要望を聞きながら小さな改善を積み重ね、令和5年2月に実施した学生アンケートでは、学院満足度・自己肯定感の両方が大幅に上昇し、ハラスメントも確認されていないことから、取組の成果は確実に現れていると考えています。

一方で学生数の減少は深刻で、今年度は1年生6名、2年生8名、3年生17名の合計31名。全道的にも3年課程の看護師養成所は少子化や大学指向の影響を受け定員充足率が低下していますが、本学院は平均を大幅に下回っています（全道平均約89%、江差高看護約26%）。学生からは「少人数なので丁寧な指導が受けられる」と評価され少人数のメリットももちろんありますが、学生数が少ないと演習形式の授業の運営が難しく、教育効果や教育の質の担保が課題となります。学年を超えた交流や地域活動への参加などを通じて学生の学びが深まるよう工夫を重ねている一方で、定員充足率の向上を目指す少人数教育を積極的にアピールしていけないジレンマも感じています。

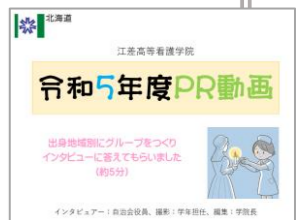
また、学生が受験したいと思うには「魅力あるカリキュラム」が何より大事です。江差らしさや道立の強みを存分に活かして体験が積めるよう昨年度から準備を重ね、今年度は奥尻島での生活を学ぶ実習（1年）、江差病院を中心とした医療連携や江差町内の多職種連携の実際を学ぶ実習（2年）、札幌医科大学附属病院・子ども総合医療・療育センター（コドモックル）など高度医療と地域医療との連携を学ぶ実習（3年）を新たに計画しています。学校関係者評価会議で承認いただいた重点目標（右）も踏まえ、今年度も引き続き取り組みを進めてまいります。（学院長・石谷絵里）



高校教員向け学院説明会・実施報告

- ◇ 日 時：令和5年5月24日（水）15：30～16：30（Web開催）
- ◇ 対 象：推薦エリア（渡島・檜山・後志・日高管内）の全71校（個別に案内）
- ◇ 参加校：5校（渡島・檜山管内の高校の進路担当、担任教諭など）
- ◇ 内 容：学院概要・ハラスメント再発防止対策の説明、学院PR動画上映、質疑応答

高校での進路指導が本格化する前に、先生方に学院の現状を説明させていただきました。学生の協力を得てPR動画を作成し、学院の現状が伝わるよう工夫をしました。実習地に関すること、退学者数に関する事などいくつかご質問をいただきました。参加校が少なかったため、引き続き学院の現状を積極的に発信していく努力が必要と考えています。



▲約5分のPR動画

<1年生>

入学してから2ヶ月が過ぎ、心理学や基礎化学などの科目のほか、解剖生理学や看護方法などの専門的な科目も始まりました。6名という少ない人数ではありますが、それぞれが個性を発揮し、講義の準備や学内清掃・担当の委員会など、全員で協力して行っています。

6月上旬には、看護学生になりたての学生を対象とした「スタートアップ模試」の受験を予定しており、毎日の学習に取り組んでいます。予習・復習が知識の定着の基本となりますが、それぞれが前向きに頑張っている、そんな心強さを感じています。

看護方法Ⅰの講義では、手指消毒の方法とガウンテクニックについて演習を行いました。自分が感染しない、そして他人にも感染させないことを徹底するための看護の基本テクニックです。これから看護技術の演習も増えていきますが、6人で切磋琢磨してほしいと思います。(1年生担任：竹田里美)



▲手指消毒とガウンテクニックの演習

<2年生>

新2年生の学院生活の状況をお伝えします。4月は、新入生に向けた学院案内や歓迎会の企画・運営を行ない、先輩として頼もしい姿を見せてくれました。

学習面では、講義内容の専門性が増す中で、“1年生で学習したところだ”とこれまでの知識が学習の土台となることを実感しています。その一方で、忘れていた知識があることにも気づき、クラスで話し合いを行い、5分間朝学習を始めました。国家試験の過去問題や穴埋め問題を行っています。学生からは、“朝学習でやったところが定着した”、“継続は効果があるのでしっかり取り組んでいこうと思った”といった声が聞かれています。

6月からは臨地実習が始まります。実習目標が一段ステップアップするため、学生たちは不安な気持ちがあるようですが、患者さんとの出会いを楽しみに実習に向けた準備に取り組んでいます。仲間同士で協力し合い、一歩ずつ前進していけるよう、学習面だけでなく、精神面ともに支援してまいりたいと思います。

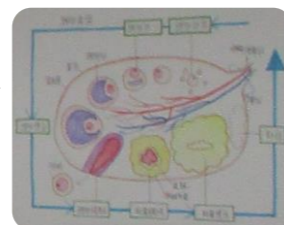
この度、1年生担任から引き続き、2年生担任を担当することとなりました。今年度も保護者のみなさまと情報共有をはかりながら、二人三脚で学生をサポートしていきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。(2年生担当：楠原千景)



◀朝学習の風景



母性看護学概論で作成したポスター▶



<3年生>

いよいよ最終学年となり、5月から10月まで続く長い実習がはじまりました。

それぞれに不安な気持ちを持ち緊張していた様子でしたが、いざ実習に出るとその様子は感じられず、真剣に患者様と向き合っている姿を見て今後の成長が楽しみです。

昨年まで新型コロナウイルス感染症の影響でなかなか思うように実習できなかった時期もあり、病院での体験が少なかったり、実習先では最終学年として求められることも多く困難なことが出てくると思います。そのような時には一人で悩まないでください。実習メンバーや担当教員がついています。どんどん助け合って充実した実習となるようにサポートしていきたいと思っています。また、2月には国家試験が待っています。全員が国家試験に合格できるよう、準備もはじめております。国家試験担当は担任として2回目となりますが、どのように対策をするか教員間でも検討し、学生と相談しながら進めていきたいと思っています。

(3年生担任：山中千晴)



4月ほめ活結果

2、3年生はもちろん、入学間もない1年生も積極的に参加してくれました。「ほめる」ためには相手を良く観察します。「いいところ探し」が上手で前向きな学生・職員が増えるよう、今年度も取組を続けます。

- ◇ 参加実人数 23人
- ◇ カード総数(学生分のみ) 105枚!



◀大賞3年生、敢闘賞2年生、
新人賞1年生でした



▲カードが増えたので、ボードを2枚に増やしました



▲教員からの応援メッセージ



▲母性看護学実習の様子

☆お知らせ☆

学院の講堂(体育館)が江差町の避難所に追加指定されました(R5.3.1付)!!

- 「洪水・土砂・地震・津波災害」に対応
- 標高 35.0m
- 収容可能人数 130人
- 開設・運営は江差町役場



スクールカウンセリングについて

～ 教員と連携し学生の皆様の
学生生活をサポートします ～

- 日程 6/8(木) 対面(14:30~17:30)
- 6/22(木) オンライン(16:30~18:00)

●予約優先ですが、空いていれば予約なしの相談もできます。

予約専用メール sc.soudan@gmail.com

- ① 氏名、② 学年、③ 連絡先 Tel、④ 希望日時、⑤ 希望方法、⑥ 相談内容



スクールカウンセラー 諏訪先生

4~5月で全員面談を実施しました。不眠や眠りが浅いなどの悩みが多く「学院長の睡眠講話」を実施。忙しい学院生活、自分の生活を自己管理する力を高めていきましょう!